



明治金工の

威風 *ifu*

高岡の名品
同時代の名工

2019 9.20 | 金 | ▶ 10.20 | 日 |

開館時間 / 9:30~17:00 (入館は16:30まで)

■ 休館日 / 9.24 | 火 |、9.30 | 月 |、10.7 | 月 |、10.15 | 火 |

■ 観覧料 / 一般 1,000円(前売・団体・シニア 800円)

高校・大学生 500円(団体 400円)、中学生以下無料

■ 団体割引は20名以上、シニア割引は65歳以上。

■ 身体障がい者・精神障がい者保健福祉・療育など各種手帳をお持ちの方および付き添いの方(1名)は観覧料が半額です。手帳をご持参ください。

[前売券販売所] 高岡市生涯学習センター(ウイング・ウイング高岡3F)・アーツナビ(高岡文化ホール、新川文化ホール、富山県教育文化会館、富山県民会館)・富山大和・画材たんぼ(砺波店、高岡店)・高岡市美術館ミュージアムショップ など



公益財団法人 高岡市民文化振興事業団

高岡市美術館
TAKAOKA ART MUSEUM

定塚義正《雲龍文銅花瓶(部分)》明治 高岡市美術館蔵

高岡の名工による大作の 里帰り展示



国指定重要文化財を 下絵（東京藝術大学蔵）とともに展示



国横山彌左衛門《頼光大江山入図大花瓶》明治6年 東京国立博物館蔵 [Image: TNM Image Archives] 図鈴木長吉《鷺置物》明治25年 東京国立博物館蔵 [Image: TNM Image Archives] 図海野勝規《手板》東京藝術大学蔵

金属が いろいろ豊かな絵画のように

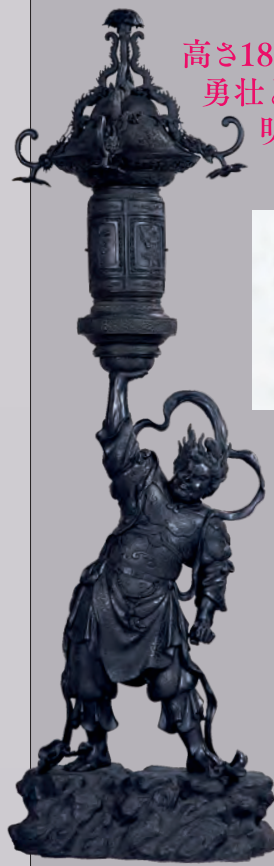


明治金工の 威風 ifa

高岡の名品
同時代の名工

加賀藩二代藩主・前田利長以来の金属工芸のまち・高岡では、明治時代にはじまる工芸振興の大きなうねりのなかでわざが向上し、高い発信力をもちました。多くのすぐれた作家や職人、銅器商たちによって「高岡銅器」が発信され、国内外の博覧会などで多くの賞を受けました。本展では、この威風にみちた明治時代における金工の名品が勢揃いします。高岡で生まれた名作を展示して地域の工芸史に光を当てつつ、国際的に活躍した同時代の金工家による優れた仕事を紹介します。ダイナミックな人・もの・わざの交流と洗練の歴史を経て現在まで受け継がれてきた超絶技巧の世界を、お楽しみください。

高岡市美術館 開館25周年記念 — 高岡市市制施行130周年記念



高さ180cm！
勇壮と精緻の
明治期工芸



図佐野隆親《天燈鬼》明治 高岡市美術館蔵 図関義平《狛置物》明治 富山県立高岡工芸高等学校青井記念館美術館蔵 図加納夏雄《群鷺図額》明治25年 東京国立博物館蔵 [Image: TNM Image Archives] 図大島如雲《濡れ獅子図丸額》明治23年 東京藝術大学蔵 図清光《麒麟亀龍文金銀象嵌三段盛器》明治6年頃 高岡市美術館蔵 図三代歌川広重《越中国鉄物細工之図》明治初期 高岡市立博物館蔵



錦絵に描かれた高岡の活況



関連行事

■記念講演会

「明治の金工―世界を魅せた情熱と技」
日時：9月21日〔土〕 14時～15時30分
会場：地階ビートホール
講師：黒川 廣子 氏（東京藝術大学美術学 教授）
●聴講無料〔定員80名、当日先着順〕

■館長トーク

日時：10月12日〔土〕 14時～15時
会場：1階企画展示室
講師：村上 隆（当館館長）
●要観覧券〔当日会場にお集まりください〕

■担当学芸員によるギャラリートーク

日時：9月28日〔土〕 14時～15時
会場：1階企画展示室
●要観覧券〔当日会場にお集まりください〕

■会期限定メニュー

ティーラウンジ アーク（地階）で
会期限定メニューを提供いたします。



公益財団法人 高岡市民文化振興事業団
高岡市美術館
TAKAOKA ART MUSEUM

〒933-0056 富山県高岡市中川1-1-30
TEL 0766-20-1177
<http://www.e-tam.info/>

- 北陸新幹線
新高岡駅より富山駅前バス（高岡駅経由）「中川」下車、徒歩2分
- 高岡駅より
徒歩約20分（北東約2km）
JR水見線「越中中川駅」下車、徒歩2分
万葉線「広小路」「志貴野中学校前」下車、徒歩10分
- お車をご利用の場合
能越自動車道・高岡北ICから約10分
高岡ICから約15分
北陸自動車道・小杉ICから約20分
高岡砺波スマートICから約20分
- 高岡市美術館地下駐車場
（9～18時）：2時間まで無料
- 高岡文化の森駐車場（屋外）：無料

当館の情報を
発信しています！ →



■本展覧会は東京国立博物館収蔵品貸与促進事業の支援を受けています

この事業は、東京国立博物館が公立博物館・美術館に対し、地域ゆかりの収蔵品を貸し出し、文化財活用センターが輸送費等を支援する事業です。2019年度はこれに加え、三重県立美術館、三内丸山遺跡センター、大分県立先哲史料館、千葉県立美術館で開催されます。本事業の募集については、<https://cpcp.nich.go.jp>をご覧ください。

